

# 研修・研究・会議費

小計 42,660 円

# 領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	<del>1401</del> 円	備考	
-----------	-----	-------------------	----	--

1401, ~~1401~~

**MIZUHO** みずほATMコーナー | ご利用明細票

ご利用ありがとうございます。内容をご確認のうえ、必ずお持ち帰りください。 みずほ銀行

お取引日 2021--2-26	振込・振替先の口座番号 7520919	普通
店番号 *****	お取引口座番号 *****	
振込手数料 **660*	お取引後残高 *****	お取引金額 *****30,000
お取引内容 電信振込	お取引後残高 *****	
時刻 1101	利用手数料 *****	お取引後残高 オツリ*****340
町田	お取引後残高 -011600-10322499	

みずほマイレージクラブのお取引条件とうれしい特典が変わりました。  
 楽天銀行 第二営業支店  
 シヤ)チホウキ インケンキユウカイ 様  
 コウメイトウ オンジヨウ ヨシヒサ 様

発信番号 8122601160000B3

2196
0015513780

添付別紙 ✓

- ・ 申込書
- ・ 受講確認書
- ・ 入金確認書

裏面に「みずほ」からのお知らせがあります。

## 領 収 証

公明党 おんじょう由久 様      2021年2月26日

★      ¥30,000

但「総合戦略と人口ビジョンへの質問のポイント」  
 「地域包括ケアシステムの理解と行政の役割」  
 資料・動画データ代として

上記正に領収いたしました

**地方議員研究会**  
 〒532-0004  
 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639  
 TEL 06 (7878) 6297



令和3年2月26日(金)

東京都町田市議会  
おんじょう 由久 様

地方議員研究会  
セミナー事務局  
電話 06-7878-6297  
(平日9~12時、13~17時)  
FAX 06-7878-6308

## 入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。

資料、USB動画データ、領収証は、一週間前後で郵送いたします。

動画データの無断転載等をご遠慮願います。

よろしく願いいたします。

### 記

・お申込み講座

- ① (川本達志)総合戦略と人口ビジョンへの質問のポイント
- ② (川本達志)地域包括ケアシステムの理解と行政の役割
- ・受講料 1講座 15,000円 × 2講座 = 合計 30,000円
- ・領収証宛名 公明党 おんじょう由久 様
- ・郵送先 〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22 公明党会派室
- ・お振込み日 令和3年2月26日(金)
- ・お振込み名義人 公明党 おんじょう由久 様

令和3年2月26日(金)

東京都町田市議会  
おんじょう 由久 様

地方議員研究会  
セミナー事務局  
電話 06-7878-6297  
(平日9~12時、13~17時)  
FAX 06-7878-6308

## 受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。

つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。

キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。

お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。

資料、USB動画データ、領収証は、お振込確認後、一週間前後で郵送いたします。

動画データの無断転載等をご遠慮願います。

よろしくお願いたします。

### 記

#### ・お申込み講座

- ① (川本達志)総合戦略と人口ビジョンへの質問のポイント
- ② (川本達志)地域包括ケアシステムの理解と行政の役割
- ・受講料 1講座 15,000円 × 2講座 = 合計 30,000円
- ・領収証宛名 公明党 おんじょう由久 様
- ・郵送先 〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22 公明党会派室

#### 【 受講料 お振込み口座 】

楽天銀行 第二営業支店

普通 7520919

名義 (社)地方議員研究会

2020年最新セミナーを収録

人気セミナーの  
動画データとレジュメ  
限定販売

交通費が  
もったいない

あのセミナーを  
受けそびれて  
なくなってしまった

次の議会で  
質問したいのに  
タイミングが  
合わない

そんなお声に  
お答えして/

USBメモリにイれて  
郵送いたします!

ご希望の講座のチェックボックスへ  チェックください。

【人口減少時代の自治体主要計画特別研修】

講師 川本 達志 元・竹田市市長

総合戦略と人口ビジョンへの質問のポイント

- ・国の人口ビジョンと総合戦略
- ・削減可能性都市のウソ、ホント
- ・あなたの街の地方創生総合戦略を読み解く
- ・「地域アプローチ」による少子化対策、働き方改革

防災・減災と議員の役割

- ・執行機関の災害対応を知ろう
- ・震災時の議会の役割を報告書から学ぶ
- ・地域防災計画から質問に活かすポイント
- ・津波被害や水害から身を守るための地方議員の視点

立地適正化計画と公共施設等総合管理計画

- ・公共施設の老朽化、更新費用問題をどうとらえるか
- ・立地適正化計画と公共施設等総合管理計画の関係
- ・市民ニーズをどう把握し質問につなげるか
- ・コンパクトシティと公共施設統廃合問題

地域包括ケアシステムの理解と行政の役割

- ・地域包括ケアシステムの5つの構成要素
- ・持続可能な社会保障制度に向けて
- ・医療、介護制度改正一括法のポイント
- ・介護保険と地域包括ケア
- ・介護保険事業計画のポイント

【国の動きと制度の基礎的解説講座】

講師 足立 泰美 甲南大学経済学部 教授  
博士(医学) 博士(国際公共政策)

地方財政の基礎「歳入」

- ・自治体財政と国の財政
- ・地方交付税のしくみ、基礎編
- ・臨時財政対策債と普通の借金の違い
- ・貴方の街の決算カードの見方

地方財政の基礎「歳出」

- ・国の予算を見て3月議会に使う
- ・まちひとしごと創生事業
- ・歳出と社会保障費の考え方
- ・公共施設の更新費用と老朽化対策

教育予算の基礎

- ・教育投資と教育収益
- ・財政措置と負担軽減策
- ・GIGAスクールとICT教育
- ・コロナ対応と教育予算
- ・ICT教育各地の事例から

子どもの貧困問題の基礎

- ・子どもの貧困対策に関する大綱の解説
- ・絶対的貧困と相対的貧困
- ・貧困指標を見て現状把握
- ・ひとり親家庭に対する取り組み
- ・就学支援とマザー・ハローワーク

【withコロナで試される地方議会議員への特別講座】

講師 川本 達志 元・竹田市市長

withコロナと自治体財政

- ・財政調整基金の活用例
- ・コロナ対策で自治体はどう動いたか
- ・議会から仕掛ける増額補正の事例
- ・議員の学習機会や本気度により自治体間格差が広がる

withコロナの議会と執行部の関係

- ・緊急時に議会はどう動いたか
- ・コロナ対策で役所でこんな動きをしています
- ・議会の権能を再確認してみよう
- ・役所を動かす質問の仕方
- ～延べ5000人以上の議員に伝えてきた効果的なポイント～

ご希望の講座のチェックボックスへ  チェックください。

【緊急開催withコロナ特別講座】

講師 宮本 正一 医学博士  
前徳島県議会議員

コロナと健康政策

- ・新型コロナウイルス基礎知識
- ・PCRと陽性者数とは
- ・公衆衛生博士が教える自治体公衆衛生政策
- ・認知症対策とコロナ対策

コロナと持続可能な財政

- ・財政調整基金を使い切った大丈夫?
- ・貯金によって違う自治体政策
- ・国から配られる交付金の仕組み
- ・役所と議会の財政質疑答弁ケーススタディ

コロナと教育問題

- ・一番の被害者は子供たち
- ・文部科学省からの通知を確認してみよう
- ・アフターコロナ時代の学校教育とは
- ・オンライン学習の可能性

コロナと市内経済対策

- ・MBAホルダーが教える経済基礎
- ・貴方は地域の事業者の声を聞いているか?
- ・効果の出る経済対策とは
- ・観光政策の賜られない勘所

【自治体財政ステップアップ講座】

講師 森 裕之 立命館大学政治経済学部  
教授 博士(政治学)

決算に臨むための自治体財政の基礎

- ・財政の見方
- ・財政状況資料集の意義と見方
- ・参加自治体の類似団体ってどこだ
- ・比較する前に財政用語の理解を深める
- ・家計に置き換えて世界一わかりやすく解説

財政状況資料集Part①

- ・各財政指標と健全化判断比率
- ・財政比較分析表でわかる順位と平均値
- ・財政課が説明する財政が良い、悪いって何だ?
- ・全国順位、県内の位置、類似団体内のポジション
- ・財政に余裕がある自治体と、厳しい自治体

財政状況資料集Part②

- ・経常経費分析表で見える財政状況
- ・性質別歳出決算分析と目的別歳出決算分析
- ・住民1人あたりコスト比較で見える自治体の姿
- ・財政指標の内訳を経年分析
- ・あなたの街の基金の状態を経年分析

財政状況資料集を使ってできる決算質疑のポイント

- ・アフターコロナを見据えた自治体財政の見方
- ・コロナ対策で自治体の基金により差が出た理由
- ・コロナ交付金の活用と財政の仕組みの理解
- ・今後の自治体財政の姿
- ・議会から指摘して持続可能な財政運営を

お申込みは  FAX または  メールにて

メール申込み [mail@chihogiken.jp](mailto:mail@chihogiken.jp) FAX申込み 下記申込者に明記の上 **06-7878-6308** 宛にお送りください。

お名前	(フリガナ) オンジョウヨシヒサ おんじょう 由久	貴議会名	竹田市議会 (1 期目)
電話番号		FAX番号	
郵送先住所	〒(194-8520) 東京都竹田市森野2-2-22 (公明党会派室)		
E-mail	onjoyoshihisa@gmail.com		
申込み合計	15,000円 ×	又	講座 = 50,000円

※と指定が無い場合は現金で送金お願いいたします。

# 領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	6,000 円	備考	
-----------	-----	---------	----	--

2401 別紙

2402

- ※ 領収書は重ねて貼付しない。
- ※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

**領収データ - 第44回都市計画セミナー | コロナ禍により変化が加速する都市・社会の姿を展望し、これからの都市計画を考える**

発行日	2021年1月22日
宛名	公明党
合計	¥5,000
但し	セミナー参加費
注文日	2021年1月22日
注文番号	11191934
主催者	日本都市計画学会 (日本都市計画学会)
イベント名	第44回都市計画セミナー   コロナ禍により変化が加速する都市・社会の姿を展望し、 これからの都市計画を考える

[印刷する](#)[編集モード](#)

コロナ禍により変化が加速する  
都市・社会の姿を展望し、  
これからの都市計画を考える

コロナ禍は、人口減少や環境資源制約、財政制約と言った中で表れつつあった、効率的な都市サービス・行政サービスの享受、多様化する価値観の中での働き方や暮らし方の選択肢の拡大といった課題を顕在化、加速化させることにつながったと考えられます。また、コロナ禍の中での私たちの経験はデジタルトランスフォーメーションの進展や、より人間中心な生活を志向するといった新しい社会・都市の姿を予見するものであったとも考えられます。

このような問題認識を出発点に、コロナ禍がどのようなインパクトを都市・社会に与えたのかを俯瞰し、これからの都市計画・まちづくりの中心的なキーワードである“スマートシティ”や“ウォークアブル”と言ったテーマがどう変わっていくのか、またどう対応していくべきなのかについて考えるセミナーを企画しました。

例年は、2日間にわたり会場に集まって開催をして参りましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染リスクが依然として高い状況にあるため、開催方法をオンラインとして、3時間ずつ全4日間で開催することと致しました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

●日程・テーマ ※プログラムは裏面参照

2021 令和3年 各回 14:00 ~ 17:00

第1日目 1/22 [金]

変化が加速する都市・社会を俯瞰する

第2日目 1/28 [木]

加速するデジタル化社会とスマートシティ

第3日目 2/ 4 [木]

ニューノーマルとウォークアブル

第4日目 2/ 5 [金]

With/ Post コロナ時代の都市・社会

開催方式

オンライン (ZOOM ウェビナー) による Live 配信

- ※接続方法などにつきましてはお申込み頂いた方に別途お伝えいたします。
- ※オンデマンド配信はございません。

申込方法

原則、Peatix サイトからのお申し込み・参加費のお支払いをお願い致します。請求書払いを希望される方は、下記 URL にある参加申込フォームまたはお申し込み用紙よりお申込み下さい。

<https://www.cpij.or.jp/com/proj/s44.html>

参加費

会員 4日間共通：6,000円 1日：2,000円  
 非会員 4日間共通：7,500円 1日：2,500円 \* 2日  
 学生 4日間共通：1,500円 1日：500円

- ※資料のダウンロードが可能なのは、参加日分のみです。
- ※公開可能な資料は、後日 HP にアップロードする予定です。



Peatix サイト



【お問い合わせ】  
 公益社団法人日本都市計画学会  
 都市計画セミナー係  
 Tel. 03-3261-5407  
 E-mail. seminar44@cpij.or.jp

## 第1日目 | 1/22 [金]

### 変化が加速する都市・社会を俯瞰する

都市や社会がどのような影響を受け、またどのような方向に変わっていくのか、様々な分野の専門家からの講演を通じて、大きな流れを俯瞰します。

- 14:00 開 会
- 14:00 開会挨拶 渡邊 浩司 日本都市計画学会 常務理事
- 14:05 基調報告「With/Post コロナのまちづくりに向けて」  
渡邊 浩司 国土交通省
- 14:15 講 演「ポストコロナの都市の姿」  
中川 雅之 日本大学 (専門：都市経済学)
- 14:45 講 演「社会・政治問題としてのコロナ危機  
—不安とメディアを中心に」  
西田 亮介 東京工業大学 (専門：社会学)
- 15:15 講 演「オンライン・ファースト  
—コロナ禍で進展した情報社会を元に戻さない」  
江崎 浩 東京大学 (専門：情報ネットワーク)
- 15:45 講 演「新型コロナウイルスによる都市・社会への影響」  
和田 耕治 国際医療福祉大学 (専門：公衆衛生学)
- 16:15 休 憩
- 16:20 総括討議・質疑応答  
江崎 浩・中川 雅之・西田 亮介・和田 耕治  
(進行：渡邊 浩司)
- 17:00 閉 会

## 第2日目 | 1/28 [木]

### 加速するデジタル化社会とスマートシティ

加速するデジタル化の流れの中で、スマートシティの具体的な先行事例を紹介。トークセッションでは、スマート化が都市計画・まちづくりをどのように変えていくのか、議論します。

- 14:00 開 会
- 14:00 報 告「国土交通省の取組状況」  
筒井 祐治 国土交通省
- 14:20 事例報告「羽田空港跡地第1ゾーンにおける  
スマートシティの取組み」  
忽那 知輝 鹿島建設
- 14:40 事例報告「豊洲スマートシティの取組みについて」  
宮田 幹士 清水建設
- 15:00 事例報告「宇都宮市のスマートシティの取組み」  
小室 崇 宇都宮市
- 15:20 事例報告「岡崎市の目指す  
“スマートシティ × ウォークアブルシティ”」  
鈴木 昌幸 岡崎市
- 15:40 休 憩
- 15:50 トークセッション  
「加速するデジタル化社会とスマートシティを考える」  
村山 顕人 東京大学  
三牧 浩也 UDCK  
筒井 祐治 国土交通省  
(コーディネーター：小泉 秀樹 東京大学)
- 17:00 閉 会

## 第3日目 | 2/4 [木]

### ニューノーマルとウォークアブル

「ニューノーマル」において、ライフスタイルの変化とそれに伴う街なかや居住エリアでのオープンスペースの重要性が高まっている中、その現在位置を確認し、今後の展望を議論します。

- 14:00 開 会
- 14:00 報 告「ウォークアブルなまちづくり施策の概要」  
中村 健一 国土交通省
- 14:15 基調講演 藤村 龍至 東京藝術大学
- 14:50 事例報告「大切な場所に、新しい暮らしを  
—まちなかの公園・河川敷・歩道利用をめぐる沼津の物語」  
小松 浩二 一般社団法人 Lanescape
- 15:05 事例報告「駅前デッキ、広場におけるエリマネ活動報告  
(新百合ヶ丘、藤沢)」  
杉森 俊彦 小田急電鉄株式会社
- 15:20 事例報告「都市のレジリエンスを強化する  
グリーンインフラの活用手法」  
佐藤 留美 NPO 法人 Green Connection TOKYO
- 15:35 事例報告「with コロナ時代における神戸の団地再生」  
山田 大輔 神戸市
- 15:50 事例報告「まちなか大地主として今やるべきこと」  
栗本 光太郎 豊田市
- 16:05 事例報告「街路空間の改変によるウォークアブルな  
まちづくりの実践」  
石井 朋紀 松山市
- 16:20 休 憩
- 16:25 総括討議・質疑応答  
小松 浩二・西村 靖生・佐藤 留美・山田 大輔・  
栗本 光太郎・石井 朋紀・中村 健一  
(進行：藤村 龍至)

17:00 閉 会

## 第4日目 | 2/5 [金]

### With/ Post コロナ時代の都市・社会

3日目までの議論を受け、With/Post コロナ時代において、どのような都市、社会を目指していくことが求められるのか、都市計画としてどう対応していくべきか等について議論します。

- 14:00 開 会
- 14:00 基調講演 出口 敦 東京大学
- 15:00 休 憩
- 15:10 パネルディスカッション  
「With/ Post コロナ時代の都市・社会」  
小泉 秀樹 東京大学  
馬場 正尊 東北芸術工科大学  
重松 真理子 三菱地所  
青木 克之 宇都宮市  
渡邊 浩司 国土交通省  
(コーディネーター：出口 敦)
- 16:50 閉会挨拶
- 17:00 閉 会

# 領収データ - 緊急開催！ 第20回インパクト・サロン

2402

発行日 2021年3月24日  
宛名 公明党  
合計 ¥1,000  
但し 参加費  
注文日 2021年3月20日  
注文番号 11804247  
主催者 多摩大学社会的投資研究所 (多摩大学社会的投資研究所)  
イベント名 緊急開催！ 第20回インパクト・サロン



印刷する

編集モード

多摩大学社会的投資研究所 第20回インパクト・サロン

## 成果連動型民間委託契約（PFS）の可能性

—日本政府の方針とPFS共通ガイドラインの概要—

基調講演



石田直美

内閣府成果連動型事業推進室  
参事官

モデレーター



小林立明

多摩大学社会的投資研究所  
研究員

イベントに参加できます

イベントに参加

## 緊急開催！ 第20回インパクト・サロン

詳細

### 成果連動型民間委託契約（PFS）の可能性

#### ---日本政府の方針とPFS共通ガイドラインの概要---

世界的に注目を集めている成果連動型民間委託契約（PFS: Pay for Success）の導入に向け、日本国内での動きが加速しています。昨年、内閣府が公開した令和2年度～4年度のアクションプランでは、医療・健康、介護、再犯防止の重点3分野を中心にPFSの活用事例の蓄積を進めつつ、地方公共団体等のニーズを踏まえながら、まちづくりなど重点3分野以外にも横展開を行うことが定められました。「令和4年度末時点でPFS事業を実施した地方公共団体の数を100団体以上とする」という野心的な目標も掲げられています。

今回のサロンでは、こうした状況を踏まえ、内閣府の成果連動型事業推進室の石田直美参事官を講師にお招きし、日本におけるPFSの概要、活用状況および政府方針についてお話し頂きます。さらに「PFS共通ガイドライン」の内容についても、ご説明頂きます。このガイドラインは、PFSを実施しようという国または地方公共団体、民間事業者、中間支援組織、資金提供者の間の共通認識の形成を容易にし、地方公共団体がPFS事業を実施する上での実務上の指針となるようまとめられたものです。

日本は、少子高齢化や人口減少など深刻な社会課題の解決に直面しています。これを民間事業者のイノベーションを最大限活用して解決していこうというPFSは、重要な役割を果たすことが期待されます。サロンでは、できるかぎり質疑応答の時間を取り、参加者の皆さんとインタラクティブに議論を進めていきたいと考えています。できるだけ多くの方々のご参加をお待ちしております。

#### ■セミナー概要■

【日時】 2021年3月24日（水） 午後6時30分から8時

【会場】 ZOOM 会合

【講師】 石田直美（内閣府 成果連動型事業推進室 参事官） -84-

【モデレーター】 小林立明（多摩大学社会的投資研究所 主任研究員）

【参加費】 1000円（研究所の個人・法人サポーターは無料）  
【申込み】 事前にPeatixにてお申込み下さい。 <https://tama-csi20210324.peatix.com/>  
【定員】 80名（定員に達し次第、受付を締め切りますのでご理解ください）  
【主催】 多摩大学社会的投資研究所  
【その他】 キャンセルは48時間前までをお願いします。これ以降は受け付けません。  
【問合せ】 多摩大学社会的投資研究所 [info@tama-csi.org](mailto:info@tama-csi.org)

## ■登壇者略歴■

石田 直美（講師）  
内閣府成果運動型事業推進室 参事官

1997年3月に東京工業大学大学院修了、同年4月に株式会社日本総合研究所に入社。主にPPP/PFIを担当。上下水道や環境分野での導入可能性調査や事業者選定支援、海外調査等を実施。インフラ輸出やスマートシティ分野でも多くの実績を有する。2016年に経済産業省事業の一環として、ヘルスケア分野でのSIB/PFSに関与、地方公共団体のPFS導入支援や、ノウハウ集作成などを担当。2019年7月1日より現職。

小林 立明（モデレーター）  
多摩大学社会的投資研究所 主任研究員

国際交流基金、日本財団勤務、学習院大学准教授等を経て、2020年4月より現職。ペンシルバニア大学NPO指導者育成修士課程修了。2012年から2013年までジョンズ・ホプキンス大学市民社会研究所国際フィランソロピー・フェロー。専門は、非営利組織経営、グローバル・フィランソロピー、ソーシャル・ファイナンス、ソーシャル・イノベーション、社会的インパクト評価等。

隠す (javascript:void(0))

社会貢献/地域活性

地方創生

社会課題

行政

金融

NPO

コメント0件

並び替え 古い順

コメントを追加...

Facebookコメントプラグイン

2021/03/24 (水)

18:30 - 20:00 JST

📅 カレンダーに追加

会場 オンライン

チケット

一般 ¥1,000

社会的投資研究所 個人・法人サポーター

社会的投資研究所関係者（パートナー機関・客員研究員）

取材プレス

販売期限: 2021/03/24 17:00:00

※コンビニ / ATM でのお支払いは、2021/03/23 で締め切られます。

チケットを申し込む

3401

2,000 円

領 収 書

奥 栄一 様

¥ 2, 0 0 0 -

但し、令和2年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

令和2年5月22日 上記の金額正に領収いたしました

住 所 神奈川県相模原市中央区中央2丁目11番15号  
氏 名 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟  
会 長 中 村 昌 治

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	2000 円	備考	
-----------	-----	--------	----	--

5401

領 収 書

山下 哲也 様

¥ 2, 000 -

但し、令和2年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

令和2 年 5 月 22 日 上記の金額正に領収いたしました

住 所 神奈川県相模原市中央区中央2丁目11番15号  
氏 名 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟  
会 長 中 村 昌 治

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	2,000 円	備考	
-----------	-----	---------	----	--

6401

領 収 書

公明党  
松葉 ひろみ 様

¥ 2, 0 0 0 —

但し、令和2年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

令和2年5月22日 上記の金額正に領収いたしました

住 所 神奈川県相模原市中央区中央2丁目1-1番15号  
氏 名 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟  
会 長 中 村 昌 治

令和2年度

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

総 会

【書面審議】

## 議 案

議案第 1 号 令和元年度活動報告について

議案第 2 号 令和元年度収支報告及び会計監査報告について

議案第 3 号 役員改選（案）について

議案第 4 号 令和 2 年度活動計画（案）について

議案第 5 号 令和 2 年度収支予算（案）について

議案第 6 号 決議（案）について

## 令和元年度 活動報告

月 日	活 動 内 容	備 考
4月24日	第1回役員会 ・平成31年度総会(案)について	
5月22日	総 会 ・平成30年度活動報告について ・平成30年度収支報告及び会計監査報告について ・役員を選任(案)について ・令和元年度活動計画(案)について ・令和元年度収支予算(案)について ・決議(案)について	【会 場】 愛川町文化会館
8月5日	臨時役員会 ・今後の活動方針について ・総会結果について ・要望活動(案)について	※町田市・相模原市の公表した小田急多摩線の延伸に関する調査検討結果を受けて、議員連盟の方針を諮るために臨時役員会を開催した。
10月23日	要望活動(国土交通省関東運輸局、小田急電鉄)	
10月28日	要望活動(東京都、神奈川県)	
2月4日	要望活動(国土交通省)	
2月10日	延伸ルート視察・研修会	
	第2回役員会 ・令和元年度要望活動結果について ・令和元年度収支報告(案)について ・令和2年度活動計画(案)、 及び収支予算(案)について ・令和2年度総会(案)について	

## 令和元年度 収支報告

## 1 収入

(単位：円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	摘要
1 会費	242,000	258,000	16,000	2,000円×129人 ※厚木市議選・愛川町選挙後に 新たに加入した議員8名を含む
2 繰越金	87,051	87,051	0	
3 諸収入	949	0	△949	
計	330,000	345,051	15,051	

## 2 支出

(単位：円)

科目	予算額 (A)	支出済額 (B)	増減額 (A-B)	摘要
1 事業推進費	300,000	272,600	27,400	
(1) 会議費	100,000	103,595	△3,595	総会、及び役員会 経費等(会場費用他)
(2) 活動費	200,000	169,005	30,995	要望活動、及び研修会 経費等(会場費用他)
2 事務費	25,000	26,989	△1,989	総会で使用する 名札ケース代
3 予備費	5,000	0	5,000	
計	330,000	299,589	30,411	会議費・事務費の 不足分は他の科目 から流用した

## 3 差引

収入済額                      支出済額                      残額(繰越金)

345,051円 - 299,589円 = 45,462円

令和2年度へ繰越し                      45,462円

# 会計監査報告書

本議員連盟の令和元年度収支決算について、出納簿、証拠書類等を  
監査したところ、適正に執行されていると認めます。

令和 2 年 4 月 22 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

監 査 森 繁 之



監 査 石 井 芳 隆



## 役員の改選（案）

新役員			現役員	
役職	職名	氏名	職名	氏名
理事	町田市議会議員	藤田 学	町田市議会議員	三遊亭 らん丈
理事	相模原市議会副議長	森 繁之	相模原市議会議員	須田 毅
理事	相模原市議会議員	松永 千賀子	相模原市議会議員	小野 弘
監査	相模原市議会議員	小野 弘	相模原市議会副議長	森 繁之
事務局	町田市議会議員	三遊亭 らん丈	町田市議会議員	藤田 学

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則（抄）

（役員）

第5条

- 2 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その職務は後任者の就任のときまで行うものとする。また、役員の任期中において選任に変更があった場合は、その任期は前任者等の残任期間とする。

改選後の役員一覧（案）

役 職	職 名	氏 名
会 長	相模原市議会議員	中 村 昌 治
会長代行	町田市議会議員	長 村 敏 明
副会長	町田市議会議員	佐 藤 伸一郎
副会長	相模原市議会議員	大 沢 洋 子
副会長	厚木市議会議員	松 田 則 康
副会長	愛川町議会議員	馬 場 司
副会長	清川村議会議員	岩 澤 敏 雄
理 事	町田市議会議員	熊 沢 礼 里
理 事	町田市議会議員	藤 田 学
理 事	町田市議会議員	山 下 哲 也
理 事	町田市議会議員	佐 藤 和 彦
理 事	相模原市議会議員	石 川 将 誠
理 事	相模原市議会副議長	森 繁 之
理 事	相模原市議会議員	松 永 千賀子
理 事	相模原市議会議員	岡 本 浩 三
理 事	厚木市議会議員	川 口 仁
理 事	厚木市議会議員	栗 山 香代子
理 事	厚木市議会議員	井 上 敏 夫
理 事	愛川町議会議員	阿 部 隆 之
会 計	相模原市議会議員	西 家 克 己
監 査	相模原市議会議員	小 野 弘
監 査	厚木市議会議員	石 井 芳 隆
事務局長	相模原市議会議員	渡 部 俊 明
事務局	町田市議会議員	三遊亭 らん丈
事務局	厚木市議会副議長	井 上 武
事務局	愛川町議会議員	井 出 一 己
事務局	清川村議会議員	藤 田 義 友

## 令和2年度 活動計画 (案)

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則に基づき、次の活動を行う。

実施時期	活動内容
4月9日(木) 午後4時00分から	第1回役員会
—	総会 【書面審議】
8～10月	第2回役員会
8月～12月	要望活動 (国、都県、鉄道事業者)
3月下旬	第3回役員会

※予算の都合が付く場合は研修会等を企画する。

## 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則 (抄)

(事業)

## 第3条

- 1 小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携を行う。
- 2 国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動を行う。
- 3 広報活動その他目的達成に必要な事業を行う。

## 令和2年度 収支予算 (案)

## 1 収入

(単位:円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減額 (A-B)	摘 要
1 会 費	246,000	242,000	4,000	2,000円×123人
2 繰越金	45,462	87,051	△41,589	
3 諸収入	538	949	△411	
計	292,000	330,000	△38,000	

## 2 支出

(単位:円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減額 (A-B)	摘 要
1 事業推進費	260,000	300,000	△40,000	
(1)会議費	110,000	100,000	10,000	総会、及び役員会 経費等
(2)活動費	150,000	200,000	△50,000	要望活動費
2 事務費	25,000	25,000	0	事務用品費等
3 予備費	7,000	5,000	2,000	
計	292,000	330,000	△38,000	

## 決 議 (案)

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を經由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されている。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識している。

愛川・厚木方面への延伸について、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ、検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要である。

また、延伸の意義と同時に収支採算性等の課題が示されたことから、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの沿線において、需要の創出に繋がる開発を積極的に推進していく必要がある。

延伸の早期実現に向け、町田市、相模原市が中心となり、関係者とともに検討の深度化が進められていることから、本議員連盟としても一日も早い延伸の実現に向け、最大限の支援を行うとともに、今後も引き続き、関係機関に積極的に働きかけるなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な活動を展開することを決意するものである。

以上、決議する。

令和2年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

## 小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書 (案)

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を經由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、【要望先】を初めとする関係者の皆様とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への一日も早い延伸の実現に向け、特段の御配慮・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟  
会長 中村 昌治

## 小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書 (案)

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を經由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、関東運輸局を初めとする関係者の皆様とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への一日も早い延伸の実現に向け、都市鉄道等利便増進法の事業スキームにおける黒字転換年数の緩和や補助財源の確保などの支援を講じていただきますようお願い申し上げます。

令和2年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟  
会長 中村 昌治

## 小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書 (案)

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を経由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、関係者とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への一日も早い延伸の実現に向け、都市鉄道等利便増進法の事業スキームにおける黒字転換年数の緩和や補助財源の確保などの支援を講じていただきますようお願い申し上げます。

令和2年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟  
会長 中村 昌治

## 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則

### (名 称)

第1条 この会は、「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟」という。

### (目 的)

第2条 この会は、関係市町村の議員の連携により、小田急多摩線の延伸を促進し、もって近隣市町村の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とする。

### (事 業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携
- (2) 国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動
- (3) 広報活動その他目的達成に必要な事業

### (組 織)

第4条 この会は、第2条の目的に賛同する関係市町村の議会議員をもって構成する。

### (役 員)

第5条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 会長代行 1名
- (3) 副会長 5名
- (4) 理 事 若干名
- (5) 会 計 1名
- (6) 監 査 2名
- (7) 事務局長 1名
- (8) 事務局 4名

2 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その職務は後任者の就任のときまで行うものとする。また、役員任期において選任に変更があった場合は、その任期は前任者等の残任期間とする。

3 会長は、会務を総括する。

4 会長代行は、会長が欠けたとき、会長に事故があるとき、又は会長の命を受けたときは、その職務を代行する。

5 副会長は、会長を補佐する。

6 監査は、この会の会計を監査する。

7 事務局長は、会務を掌理する。

8 事務局は、事務局長を補佐する。

(顧問、参与及び相談役)

第6条 この会に顧問、参与及び相談役を置くことができる。

(事務局)

第7条 この会に事務局を置く。

2 事務局は、会長の市町村に置く。

3 事務局は、第3条に規定する事業の企画、立案等に関する事務を処理する。

(経費)

第8条 この会の経費は、会費その他の収入をもって充てる。

2 会費は年額 2,000 円とする。ただし、会長が必要と認める際は、増額することができる。

3 この会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終る。

但し、平成 21 年度においては、平成 21 年 11 月 4 日より翌年 3 月 31 日までとする。

(補則)

第9条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は別途協議して定める。

(附則)

この会則は、平成 21 年 11 月 4 日から施行する。

(附則)

この会則は、平成 22 年 5 月 27 日から施行する。

(附則)

この会則は、平成 24 年 5 月 23 日から施行する。

(附則)

この会則は、平成 26 年 5 月 15 日から施行する。

(附則)

この会則は、平成 28 年 5 月 27 日から施行する。

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 顧問・参与名簿

No.	役職	職名	氏名	会派
1	顧問	衆議院議員	小倉 将信	自由民主党
2	顧問	衆議院議員	赤間 二郎	自由民主党
3	顧問	法務副大臣 衆議院議員	義家 弘介	自由民主党
4	顧問	衆議院議員	後藤 祐一	立憲民主・国民・社保 ・無所属フォーラム
5	顧問	衆議院議員	伊藤 俊輔	立憲民主・国民・社保 ・無所属フォーラム
6	顧問	参議院議員	小川 敏夫	無所属
7	顧問	参議院議員	中川 雅治	自由民主党
8	顧問	参議院議員	朝日 健太郎	自由民主党
9	顧問	参議院議員	松沢 成文	日本維新の会
10	顧問	参議院議員	牧山 ひろえ	立憲・国民・新緑風会・社民
11	顧問	参議院議員	真山 勇一	立憲・国民・新緑風会・社民
12	顧問	参議院議員	三原 じゅん子	自由民主党
13	顧問	参議院議員	中西 健治	自由民主党
14	顧問	参議院議員	島村 大	自由民主党
15	顧問	文部科学大臣政務官 参議院議員	佐々木 さやか	公明党
16	顧問	参議院議員	三浦 信祐	公明党
17	顧問	参議院議員	竹内 真二	公明党
18	参与	東京都議会議員	石川 良一	都民ファーストの会 東京都議団
19	参与	東京都議会議員	小磯 善彦	都議会公明党
20	参与	東京都議会議員	吉原 修	東京都議会自由民主党
21	参与	東京都議会議員	斉藤 れいな	無所属 東京みらい
22	参与	東京都議会議員	奥澤 高広	無所属 東京みらい
23	参与	神奈川県議会議員	堀江 則之	自由民主党神奈川県議会議員団
24	参与	神奈川県議会議員	佐々木 正行	公明党神奈川県議会議員団
25	参与	神奈川県議会議員	長友 克洋	かながわ県民・民主フォーラム 神奈川県議会議員団
26	参与	神奈川県議会議員	寺崎 雄介	立憲民主党・民権クラブ 神奈川県議会議員団
27	参与	神奈川県議会議員	河本文 雄	自由民主党神奈川県議会議員団
28	参与	神奈川県議会議員	細谷 政幸	自由民主党神奈川県議会議員団
29	参与	神奈川県議会議員	佐藤 知一	県政会神奈川県議会議員団
30	参与	神奈川県議会議員	山口 貴裕	自由民主党神奈川県議会議員団
31	参与	神奈川県議会議員	京島 圭子	かながわ県民・民主フォーラム 神奈川県議会議員団
32	参与	神奈川県議会議員	小林 大介	立憲民主党・民権クラブ 神奈川県議会議員団
33	参与	神奈川県議会議員	山口 美津夫	自由民主党神奈川県議会議員団
34	参与	神奈川県議会議員	佐藤 圭介	かながわ県民・民主フォーラム 神奈川県議会議員団

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会員名簿

No.	職名	氏名	会派
1	町田市議会議員	熊沢 礼里	自由民主党
2	町田市議会副議長	奥 栄一	公明党
3	町田市議会議員	大西 宣也	保守の会
4	町田市議会議員	吉田 勉	保守の会
5	町田市議会議員	長村 敏明	自由民主党
6	町田市議会議員	佐藤 伸一郎	自由民主党
7	町田市議会議員	藤田 学	自由民主党
8	町田市議会議員	若林 章喜	自由民主党
9	町田市議会議員	新井 克尚	諸派
10	町田市議会議員	三遊亭 らん丈	自由民主党
11	町田市議会議員	岩瀬 和子	自由民主党
12	町田市議会議員	山下 哲也	公明党
13	町田市議会議員	戸塚 正人	まちだ市民クラブ
14	町田市議会議員	松岡 みゆき	自由民主党
15	町田市議会議員	佐藤 和彦	まちだ市民クラブ
16	町田市議会議員	渡辺 巖太郎	自由民主党
17	町田市議会議員	白川 哲也	保守の会
18	町田市議会議員	森本 誠也	まちだ市民クラブ
19	町田市議会議員	石川 好忠	自由民主党
20	町田市議会議員	智田 伸也	まちだ市民クラブ
21	町田市議会議員	松葉 祐巳	公明党
22	町田市議会議員	木目田 英男	自由民主党
23	町田市議会議員	小関 重太郎	保守の会
24	町田市議会議員	深沢 宏文	保守の会
25	町田市議会議員	斉藤 勝広	公明党
26	町田市議会議員	星 大輔	自由民主党
27	相模原市議会議員	石川 将誠	自由民主党相模原市議団
28	相模原市議会副議長	森 繁之	市民民主クラブ
29	相模原市議会議員	金子 豊貴男	市民民主クラブ
30	相模原市議会議員	松永 千賀子	日本共産党相模原市議団
31	相模原市議会議員	加藤 明徳	公明党相模原市議団
32	相模原市議会議員	須田 毅	自由民主党相模原市議団
33	相模原市議会議員	大沢 洋子	市民民主クラブ
34	相模原市議会議員	中村 昌治	自由民主党相模原市議団
35	相模原市議会議員	阿部 善博	自由民主党相模原市議団
36	相模原市議会議員	長谷川 くみ子	颯爽の会
37	相模原市議会議員	小野沢 耕一	自由民主党相模原市議団
38	相模原市議会議員	栗原 大	市民民主クラブ
39	相模原市議会議員	寺田 弘子	自由民主党相模原市議団
40	相模原市議会議員	野元 好美	颯爽の会
41	相模原市議会議員	古内 明	自由民主党相模原市議団
42	相模原市議会議員	小池 105-和	市民民主クラブ

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会員名簿

No.	職名	氏名	会派
43	相模原市議会議員	桜井 はるな	市民民主クラブ
44	相模原市議会議員	小野 弘	自由民主党相模原市議団
45	相模原市議会議員	大崎 秀治	公明党相模原市議団
46	相模原市議会議員	久保田 浩孝	公明党相模原市議団
47	相模原市議会議員	西家 克己	公明党相模原市議団
48	相模原市議会議員	関根 雅吾郎	市民民主クラブ
49	相模原市議会議員	白井 貴彦	市民民主クラブ
50	相模原市議会議員	五十嵐 千代	颯爽の会
51	相模原市議会議員	鈴木 秀成	市民民主クラブ
52	相模原市議会議員	小田 貴久	市民民主クラブ
53	相模原市議会議員	大槻 和弘	自由民主党相模原市議団
54	相模原市議会議員	後田 博美	公明党相模原市議団
55	相模原市議会議員	渡部 俊明	自由民主党相模原市議団
56	相模原市議会議員	石川 達	市民民主クラブ
57	相模原市議会議員	南波 秀樹	公明党相模原市議団
58	相模原市議会議員	羽生田 学	日本共産党相模原市議団
59	相模原市議会議員	鈴木 晃地	無所属
60	相模原市議会議員	田所 健太郎	日本共産党相模原市議団
61	相模原市議会議員	服部 裕明	自由民主党相模原市議団
62	相模原市議会議員	佐藤 尚史	自由民主党相模原市議団
63	相模原市議会議員	布施 初子	自由民主党相模原市議団
64	相模原市議会議員	岡本 浩三	公明党相模原市議団
65	相模原市議会議員	秋本 仁	自由民主党相模原市議団
66	相模原市議会議員	大八木 聡	自由民主党相模原市議団
67	相模原市議会議員	中村 忠辰	公明党相模原市議団
68	相模原市議会議員	折笠 正治	自由民主党相模原市議団
69	相模原市議会議員	三須 城太郎	市民民主クラブ
70	相模原市議会議員	榎本 揚助	無所属
71	相模原市議会議員	今宮 祐貴	日本共産党相模原市議団
72	相模原市議会議員	仁科 なつ美	市民民主クラブ
73	厚木市議会議員	寺岡 まゆみ	公明党
74	厚木市議会副議長	井上 武	ネクストあつぎ
75	厚木市議会議員	松田 則康	あつぎみらい
76	厚木市議会議員	石井 芳隆	きずな
77	厚木市議会議員	田上 祥子	公明党
78	厚木市議会議員	川口 仁	公明党
79	厚木市議会議員	神子 雅人	ネクストあつぎ
80	厚木市議会議員	栗山 香代子	日本共産党
81	厚木市議会議員	名切 文梨	あつぎの会
82	厚木市議会議員	難波 達哉	ネクストあつぎ
83	厚木市議会議員	松本 樹影	きずな
84	厚木市議会議員	渡辺 貞雄	あつぎみらい

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会員名簿

No.	職名	氏名	会派
85	厚木市議会議員	井上敏夫	あつぎの会
86	厚木市議会議員	遠藤浩一	公明党
87	厚木市議会議員	瀧口慎太郎	ネクストあつぎ
88	厚木市議会議員	新井啓司	きずな
89	厚木市議会議員	高橋豊	ネクストあつぎ
90	厚木市議会議員	田口孝男	ネクストあつぎ
91	厚木市議会議員	山崎由枝	公明党
92	厚木市議会議員	高橋知己	新政あつぎ
93	厚木市議会議員	望月真実	新政あつぎ
94	厚木市議会議員	三橋文男	ネクストあつぎ
95	厚木市議会議員	高村真和	新政あつぎ
96	厚木市議会議員	池田博英	日本共産党
97	厚木市議会議員	後藤由紀子	無所属
98	厚木市議会議員	奈良直史	ネクストあつぎ
99	愛川町議会議長	馬場司	あいかわの聲
100	愛川町議会副議長	井上博明	日本共産党愛川町議員団
101	愛川町議会議員	小島総一郎	無所属
102	愛川町議会議員	小林敬子	日本共産党愛川町議員団
103	愛川町議会議員	山中正樹	あいかわの聲
104	愛川町議会議員	井出一己	公明党
105	愛川町議会議員	佐藤茂	無所属
106	愛川町議会議員	渡辺基	あいかわの聲
107	愛川町議会議員	木下真樹子	あいかわの聲
108	愛川町議会議員	佐藤りえ	公明党
109	愛川町議会議員	熊坂崇徳	あいかわの聲
110	愛川町議会議員	玉利優	あいかわの聲
111	愛川町議会議員	鈴木信一	日本共産党愛川町議員団
112	愛川町議会議員	岸上敦子	公明党
113	愛川町議会議員	阿部隆之	あいかわの聲
114	愛川町議会議員	茅孝之	あいかわの聲
115	清川村議会議長	岩澤敏雄	無所属
116	清川村議会副議長	細野洋一	無所属
117	清川村議会議員	藤田義友	日本共産党
118	清川村議会議員	川瀬正行	無所属
119	清川村議会議員	山本雅彦	無所属
120	清川村議会議員	笹原和織	無所属
121	清川村議会議員	山口進	無所属
122	清川村議会議員	城所英樹	無所属
123	清川村議会議員	細野賢一	無所属